

平成22年度
専攻科学生募集要項
入学案内
(第2次募集)

(出願書類添付)

国立鈴鹿工業高等専門学校

〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町
電話 (059)368-1739・1731 (学生課入試係)
FAX (059)368-1738
ホームページ [http:// www.suzuka-ct.ac.jp](http://www.suzuka-ct.ac.jp)

目 次

専攻科入学案内	
I 鈴鹿高専専攻科について	1
(1) 専攻科の設置	1
(2) 専攻科の教育方針	1
II アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）	1
(1) 求める志願者像	1
(2) 入学者選抜方針	1
(3) 複合型生産システム工学プログラムの推進	2
III 専攻および入学定員	2
IV 修業年限	2
V 教育課程および修了要件	2
VI 学士の学位の取得	6
VII 入学時に必要な経費	6
VIII 入学料・授業料の免除	6
IX 奨学金制度	6
X 学生寮	7
XI 修了後の進路実績	7
平成22年度専攻科学生募集要項（第2次募集）	
I 募集人員	8
II 選抜の方法	8
III 学力試験による選抜	8
1 出願資格	8
2 入学願書受付	8
3 出願手続	9
4 選抜の実施方法	9
5 試験日時および場所	10
6 合格者の発表	10
7 入学確約書の提出	10
8 入学手続	11
9 その他の注意事項	11
IV 対応出身学科	11
V 入学前に修得した教科内容の確認と補習・補講について	12
VI 個人情報取り扱いについて	12
VII 入試情報の提供について	12
VIII その他	12

専攻科入学案内

I 鈴鹿高専専攻科について

(1) 専攻科の設置

高等専門学校制度は、工業技術の発展を支える実践的技術者の養成を目指す高等教育機関として昭和37年に創設されました。平成3年7月「学校教育法の一部を改正する法律」に基づき、主として高等専門学校を卒業した方を対象に、より高度な教育・研究指導を行い、研究開発能力、創造力をもった実践的技術者を育成するとともに、社会人技術者を対象にリフレッシュ教育を行うことをも目的として専攻科制度が創設されました。本校専攻科は電子機械工学専攻および応用物質工学専攻で編成され、平成5年4月に設置されました。

(2) 専攻科の教育方針

21世紀を迎えた今、科学技術の高度化と国際化の進展により、技術者教育を担う高等専門学校には、新たな展開が求められています。技術の高度化・融合化を踏まえ、高度な専門技術・研究開発能力と共に多分野の幅広い基礎技術をあわせもち、さらに、優れた倫理観、国際的センスを身につけた技術者の輩出が強く望まれています。そこで、本校専攻科では、次のような教育方針に基づき、科学技術の分野で国際的に活躍できる実践的技術者の育成をめざしています。

- ① 幅広い基礎技術と高度な専門知識を有し、広い視野から社会の変化に的確に対応できる技術者の育成
- ② 新しい価値を創造する力を備え、研究開発能力、課題探求能力を有し、社会に貢献できる意欲的な技術者の育成
- ③ 社会に対する責任を自覚でき、優れた倫理観をもった技術者の育成
- ④ 日本語および英語によるコミュニケーション能力をもった技術者の育成

II アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

(1) 求める志願者像

- ・ 科学技術に興味をもち、その発展に夢を抱く人
- ・ 自らの向上を目指して継続的に自己学習ができる人
- ・ 豊かな想像力と何事にも積極的に挑戦する行動力をもった人
- ・ 論理的に物事を考えることができる人
- ・ 広い視野を持ち、国際社会で活躍できる人

(2) 入学者選抜方針

本校専攻科では、科学技術の分野で国際的に活躍できる実践的技術者の育成を目的とし、専攻科修了時にこの目的を達成できる高い可能性を持った学生の選抜を基

本とします。

このため、学校長推薦による選抜および社会人特別選抜においては、自然科学に対する興味や論理的思考能力などの適性、科学技術の発展や国際社会への貢献に向けて継続的に学習しようとする意欲、専門分野に関する基礎知識などを面接試験により評価し、推薦書（社会人特別選抜の場合は業績調書）および調査書の内容と併せて総合評価します。

学力選抜においては、国際的に活躍できる実践的技術者となるために必要な基礎的知識を英語と数学の筆記試験により評価し、面接試験による意欲、適性、人物および専門基礎知識の評価と併せて総合評価します。

(3) 複合型生産システム工学プログラムの推進

本校専攻科では前記の教育方針のもと、国際的に活躍できる創造性豊かな実践的技術者を育成すべく、それぞれの専攻ごとの教育に励んでいます。

また、絶え間ない教育システムの改善・向上を目指し、日本技術者教育認定機構（Japan Accreditation Board for Engineering Education：略称 JABEE）の認定を受けた「複合型生産システム工学プログラム」（学科の4、5学年および専攻科1、2年次における4年間の教育プログラム）を推進しています。このため、専攻科を修了するためにはこのプログラムの修了要件を満たすことが必要となります。詳しくは鈴鹿高専ホームページ<http://www.suzuka-ct.ac.jp>をご覧ください。

なお、JABEEの認定プログラムを修了した場合には、技術士の一次試験が免除されます。

Ⅲ 専攻および入学定員

電子機械工学専攻	12名
応用物質工学専攻	8名

Ⅳ 修業年限

2年

Ⅴ 教育課程および修了要件

専攻科の教育課程は、教養科目、専門共通科目および専門展開科目で構成されています。専攻科を修了するためには、教育課程に規定された単位数を修得し、大学評価・学位授与機構の審査による学位を取得した上で、さらに、上記の複合型生産システム工学プログラムが要求する教育内容および水準等の修了要件（例えば、英語の基礎的なコミュニケーション能力、特別研究の外部での発表等）を満たす必要があります。平成21年度における本校専攻科の開設科目、配当単位数および修了に必要な単位数を参考までに次の表に示します。

専攻科 教養・専門共通科目

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考	
			1年次	2年次		
教養科目	必修	技術英語Ⅰ	1	1		
		技術英語Ⅱ	1		1	
		英語総合Ⅰ	1	1		
		英語総合Ⅱ	1		1	
		技術者倫理	2	2		
		国際関係論	2		2	
		計	8	4	4	
	選択	経営学	2		2	左記4単位の中から 2単位以上選択
		コミュニケーション論	2		2	
計		4		4		
専門共通科目	必修	代数学特論	2	2		
		科学実験法	2	2		
		環境保全工学	2	2		
		信頼性工学	2	2		
		応用情報工学	2	2		
		センサ工学	2		2	
		物性工学	2		2	
		計	14	10	4	
	選択	数理解析学Ⅰ	2	2		左記4単位の中から 2単位以上選択
		数理解析学Ⅱ	2	2		
		化学総論	2	2		
		応用物理学	2	2		
		生命工学	2		2	
		情報学基礎論	2	2		
		データ処理システム	2	2		
		生産設計工学	2		2	
		インターンシップⅠ	2		2	
		インターンシップⅡ	4		4	
		インターンシップⅢ	6		6	
		先端技術特論	2		2	
		実践工業数学Ⅰ	1		1	
		実践工業数学Ⅱ	1		1	
		計	32	12	4	
				16		

※ 専門展開科目を含めすべての講義科目については、15時間の授業と30時間の自宅等における自学自習を前提に1単位として組み立てられています。

専門科目（電子機械工学専攻）

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考	
			1年次	2年次		
専門展開科目	必修	構造設計学	2	2		
		電子機械工学輪講	2		2	
		電子機械工学実験	4	2	2	
		特別研究	12	12		
		計	20	4	4	
	選択	マイクロプロセッサ工学	2	2		左記6単位の中から 2単位以上選択
		表面工学	2	2		
		複合材料工学	2	2		
		流体力学特論	2	2		
		エネルギー移送論	2	2		
		電気理論特論	2	2		
		制御機器工学	2	2		
		ヒューマンインターフェース	2		2	
		マイクロエレクトロニクス工学特論	2		2	
		応用電子回路論	2	2		
		非破壊検査工学	2	2		
		情報通信工学	2	2		
		デジタル通信システム	2	2		
		新素材工学	2		2	
		電子線機器工学	2		2	
計	30	22	8			
教養科目（必修）開設単位数		8	4	4		
教養科目（選択）開設単位数		4		4		
専門共通科目（必修）開設単位数		14	10	4		
専門共通科目（選択）開設単位数			12	4		
		32	16			
専門展開科目（必修）開設単位数			4	4		
		20	12			
専門展開科目（選択）開設単位数		30	22	8		
			52	28		
開設単位数合計		108	28			
修得単位数	教養科目	62単位以上	必修	8単位		
			選択	2単位		
	専門共通科目	必修	14単位			
		選択	2単位			
	専門展開科目	必修	20単位			
選択	16単位以上 (教養科目及び 専門共通科目の 選択を含む。)					

専門科目（応用物質工学専攻）

区分	授業科目	単位数	年次別配当		備考	
			1年次	2年次		
専門展開科目	必修	応用物質工学輪講	2		2	
		応用物質工学実験	4	2	2	
		特別研究	12	12		
		計	18	2	4	
	選択	資源工学	2	2		
		有機化学特論	2	2		
		生体機能工学	2		2	
		高分子化学特論	2		2	
		有機材料工学	2		2	
		エコマテリアル	2		2	
		化学情報工学	2	2		
		組織制御学	2	2		
		移動現象論	2	2		
		分析化学特論	2	2		
		材料物理学	2	2		
		反応速度論	2	2		
		化学熱力学	2	2		
		基礎電子化学	2	2		
		相変換工学	2	2		
		分子生命科学	2	2		
材料強度工学	2		2			
応用電子化学	2		2			
細胞情報科学	2		2			
計	38	24	14			
教養科目（必修）開設単位数		8	4	4		
教養科目（選択）開設単位数		4		4		
専門共通科目（必修）開設単位数		14	10	4		
専門共通科目（選択）開設単位数			12	4		
		32	16			
専門展開科目（必修）開設単位数			2	4		
		18	12			
専門展開科目（選択）開設単位数		38	24	14		
			52	34		
開設単位数合計		114	28			
修得単位数	62単位以上	教養科目		必修	8単位	
				選択	2単位	
	専門共通科目		必修	14単位		
			選択	2単位		
専門展開科目		必修	18単位			
		選択	18単位以上 (教養科目及び専門共通科目の選択を含む。)			

VI 学士の学位の取得

高等専門学校卒業生等が本校の専攻科で2年以上にわたり62単位以上を修得し、大学評価・学位授与機構の審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた場合は、学士の学位を取得できます。

※ 大学評価・学位授与機構の審査手数料・・・25,000円（平成20年度実績）

VII 入学時に必要な経費（予定額）

費目	金額	備考
入学料	84,600円	入学手続き時に納入
授業料	117,300円	年額234,600円の前期分
教科書代	約30,000円	専攻ごとに別途連絡

※ ①上記の他、教育後援会会費（前期分9,000円及び入会金10,000円）、傷害共済会費（1年分500円）、日本スポーツ振興センター保護者負担金（1年分1,520円）、諸経費積立金（前期分12,000円）等が必要です。

※ ②在学中に授業料改正が行われた場合には、新授業料を適用するスライド制が導入されます。

※ ③入寮を許可された場合は寮費等の経費半期分約40,000円と、入寮時のみ入寮費4,000円、また、別途食費（月平均20,000円）が必要となります。

VIII 入学料・授業料の免除

(1) 入学料の免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり、風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額又は半額が免除される制度があります。

(2) 授業料の免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者、または風水害による災害を受け、納付が困難と認められる者には、本人の申請に基づき、選考の上、授業料の全額または半額が免除される制度があります。

IX 奨学金制度

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって学費の納付が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度等があります。

X 学生寮

入寮を希望する専攻科生のために学生寮が用意されています。ただし収容人数に制限がありますので入寮できない場合もあります。学生寮は個室で、快適な生活ができるように各室にインターネット配線、空調設備が設置され、談話室、補食室、洗濯室などの共同諸施設が整っています。また、浴室、食堂も完備されています。

XI 修了後の進路実績 (平成11～20年度)

専攻科修了後の進路は、大学院への進学または就職となります。最近では推薦入学制度が整備されてきており、大学院への進学希望者が増えています。また、就職する学生に対しては31倍(平成20年度)を超える高い求人倍率となっています。

進 学 先	主 な 就 職 先	
名古屋大学大学院	アイシン精機	中川製作所
名古屋工業大学大学院	旭化成	日産テクノ
東京工業大学大学院	旭電器工業	日東電工
豊橋技術科学大学大学院	オムロン松阪	ニプロファーマ
三重大学大学院	オンキョーエレクトロニクス	日本アイ・ビー・エム
岐阜大学大学院	カネカ	日本貨物鉄道
筑波大学大学院	カヤバ工業	ネクストウェア
横浜国立大学大学院	キャノンシステムアソシエーツ	パナソニック電工
長岡技術科学大学大学院	小島プレス工業	日立エレクトロニクス
金沢大学大学院	三恵工業	フジキン
静岡大学大学院	島津メクトム	富士ゼロックス三重
京都工芸繊維大学大学院	シャープ	富士通
大阪大学大学院	新東プレーター	ホンダ・エクスプレス
岡山大学大学院	鈴鹿富士ゼロックス	本田技研工業
広島大学大学院	住友電装	前川製作所
徳島大学大学院	住電エレクトロニクス	三浦工業
九州工業大学大学院	ゼネラルエンジニアリング	三菱化学
北陸先端科学技術大学院大学	ソニーイーエムシーエス	メイキコウ
奈良先端科学技術大学院大学	太陽化学	森精機製作所
	ダイソウ工業	矢崎総業
静岡県立大学大学院	津田工業	ヤマザキマザック
大阪府立大学大学院	デンソーテクノ	リコーエレメックス
	凸版印刷	I N A X
早稲田大学大学院	豊田合成	J S R
鈴鹿医療科学大学大学院	トヨタテクニカルイノベーション	N T T ファシリテーズ
立命館大学大学院	東芝	U L Japan

平成22年度専攻科学生募集要項 (第2次募集)

I 募集人員

電子機械工学専攻 若干名

応用物質工学専攻 若干名

II 選抜の方法

入学者の選抜は、次のとおり行います。

選 抜 区 分	選 抜 期 日
学力試験による選抜	平成21年11月28日(土)

III 学力試験による選抜

1 出 願 資 格

次のいずれかに該当する者

- (1) 高等専門学校を卒業した者または平成22年3月高等専門学校を卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者または平成22年3月短期大学を卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者または平成22年3月専修学校の専門課程を修了見込みの者のうち学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者

2 入学願書受付

期 間	平成21年11月16日(月)から11月20日(金)まで。 郵送の場合も11月20日(金)必着のこと。
時 間	午前9時から午後4時30分まで。ただし、土曜日および日曜日は受付をしません。
場 所	〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町 鈴鹿工業高等専門学校 学生課入試係

3 出 願 手 続

(1) 検定料の振込

出願者は、本校所定の「振込依頼票」に必要事項を記入し、**検定料16,500円**を添えて最寄りの銀行から本校指定の送り先（振込依頼票に記載）へ電信扱いで振り込んでください（現金自動預払機（ATM）による振込は不可）。

振込期間は平成21年11月9日（月）～11月20日（金）

振込後、下記の出願書類を願書受付期間中に持参または郵送してください。

(2) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
入 学 願 書	本校所定の様式（学力選抜用）に必要事項を記入してください。
写 真 票	写真票に貼る写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した上半身・正面・脱帽・無背景のものとしします。（縦4cm×横3cm）
受 験 票	受験票（学力選抜用）の氏名欄は必ず自署してください。
調 査 書	本校所定の様式を使用し、在籍（出身）学校長または学長が作成したもの。
受験票送付用封筒（長3封筒）	志願者の住所、氏名および郵便番号を明記し、650円（速達・簡易書留郵便料を含む）切手を貼ったもの。（願書を直接持参する場合は不要）
宛名シール	合格通知等を受ける住所・氏名・郵便番号を記入してください。
そ の 他	外国人の者は、市区町村長発行の外国人登録済証明書を提出してください。

※ 出願上の注意事項

- ① 提出書類を郵送する場合は、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書きし、書留郵便または簡易書留郵便で送付してください。
- ② 提出書類等の不備なものは受理しません。
- ③ 書類提出後は、記載事項の変更は一切認めません。
- ④ 受理した書類および検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 提出書類に事実と異なる記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

4 選 抜 の 実 施 方 法

入学者の選抜は、筆記試験（英語、数学）および面接試験の結果を総合して行います。

(1) 筆記試験

- ① 英語 主として理工系の内容
- ② 数学

微分・・・一変数および多変数の微分とその応用
積分・・・一変数および多変数の積分とその応用
微分方程式・・・常微分方程式
線形代数・・・ベクトルと図形、行列と行列式

(2) 面接試験

面接試験においては、受験者が専攻科入学後に行いたい研究等についてOHP、パワーポイント等を用いて5分間程度のプレゼンテーションを行い、その発表内容に関連した事項等についての口頭試問が課せられます。

(3) 評価の方法

筆記試験は各科目100点満点で評価します。面接試験はアドミッション・ポリシーに則り、意欲、適性、人物および専門基礎知識の観点から40点満点で評価し、筆記試験との合計240点満点で総合評価します。

5 試験日時および場所

(1) 試験日時

期 日	区 分	時 間
平成21年 11月28日 (土)	英 語	9:00 ~ 10:30
	数 学	10:50 ~ 12:20
	面 接 試 験	13:30 ~

(2) 試験場所

鈴鹿工業高等専門学校

6 合格者の発表

平成21年12月4日(金) 午前10時

本校校内に合格者の受験番号を掲示するとともに、同日、合格者あてに合格通知書を発送します。

(当日、午前10時30分以降に本校ホームページに合格者の受験番号を掲載します。ホームページアドレス [http:// www.suzuka-ct. ac. jp](http://www.suzuka-ct.ac.jp))

電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

7 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、平成21年12月11日(金)午後5時までに「入学確約書」を提出してください。なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

8 入学手続

入学予定者あて平成22年3月頃別途連絡します。

9 その他の注意事項

- (1) 受験票は、入学願書を受理したのち本人あてに交付または郵送します。この受験票は試験当日必ず持参してください。
- (2) 受験上の注意は、受験票に記載していますが、その他の注意事項は当日試験場に掲示します。
- (3) 出願書類提出後、住所または郵便受取先を変更したときは、ただちに、本校学生課入試係に受験番号および氏名を明記のうえ届け出てください。

IV 対応出身学科

専門の知識と技術を体系的に修得するため、各専攻出願希望の学生は原則として次表の「対応出身学科」の欄に掲げる学科を卒業した者および卒業見込みの者とします。

専攻	対応出身学科
電子機械工学専攻	機械工学科・機械システム工学科・機械電気工学科・電気工学科・電子工学科・電子機械工学科・電子制御工学科・制御情報工学科・電子情報工学科・電気情報工学科・電気電子工学科・情報電子工学科・情報工学科・流通情報工学科・情報通信工学科・電気電子システム工学科・生産機械工学科・電波通信学科・機関学科（商船学科の機関コースを含む）・航空工学科・システム制御工学科・情報デザイン学科・コミュニケーション情報学科・電子メディア工学科・経営情報学科・情報通信システム工学科・メディア情報工学科 等
応用物質工学専攻	材料工学科・工業化学科・応用化学科・化学工学科・物質工学科・生物工学科・生物応用化学科・物質化学科・環境材料工学科・物質化学工学科・生物資源工学科 等

V 入学前に修得した教科内容の確認と補習・補講について

本校専攻科の教科の受講にあたり、入学者にはあらかじめ定められたいくつかの教科について出身の学校等で修得済みであることが求められています。出身の学科や学校あるいは、選択教科の選択方法によって、これが満足されない可能性がありますので、入学者には入学後、これらの教科について教科書やシラバスなどの提出を求め、修得した内容を確認することがあります。修得内容に不足が存在すると認められる場合は、補習・補講または科目等履修生（有料）などにより単位等を修得する必要があります。

VI 個人情報取り扱いについて

本校では、入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校および国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

VII 入試情報の提供について

本校では、推薦、社会人及び学力による入学者選抜の願書受付期間中、適時入学願書の受付状況をホームページでお知らせします。

VIII その他

- (1) 入学志願にあたって、出願資格、志望専攻等で疑問がある場合は、学生課入試係にお問い合わせください。特に短期大学卒業者（見込みを含む。）および専修学校の専門課程修了者（見込みを含む。）は事前に照会されることをおすすめします。
- (2) 身体に障害を有する志願者で、受験上および修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち学生課入試係まで申し出てください。